

JR 南武線連続立体交差事業に関する地域勉強会（第7回） 開催要旨

開催日時 平成29年11月29日（水） 18時00分～19時10分

開催場所 幸区役所 4階 第3、第4会議室

- 議 事**
- 1 11月16日開催のまちづくり委員会の報告
 - 2 第6回の主な意見と基本的な考え方について
 - 3 南武線沿線まちづくりの方向性について

《開 会》

1 11月16日開催のまちづくり委員会の報告

[意見要旨]

- 地域勉強会 ○向河原駅前踏切は、中原区のPTA会議でも非常に危険な通学路として話に挙がっている。この踏切は、小杉エリアの子供たちの通学路になっているが、今後、小杉の小学校新設による学校区の変更により、通学児童数が減るのではないかと考えています。
小学校が開校するタイミングと迂回路の工事期間及び開通するタイミングはどのようなものとなるのか。
- 事務局 ○迂回路整備の工事期間は半年程度を見込んでおり、遅くとも平成31年度には通行できるよう調整しております。小学校の開校時期については詳細に把握をしておりませんが、現在、小杉エリアから通学している全ての児童が新設する小学校の学校区に変更になるとは考えにくいいため、現在の通学児童がそのまま踏切を通る前提で、なるべく早急に安全な通学環境が確保できるよう、踏切を通る交通の分散化を図るため迂回路を整備する予定です。
- 地域勉強会 ○ほぼ毎日その辺りを仕事で通っているが、実際に280メートルも遠回りをして利用するのか疑問である。
- 事務局 ○歩行者の方が280メートル余計に移動してまで迂回路を利用することは難しいが、駐輪場との位置関係や利用者の状況などを考慮すると、自転車利用者の方には御利用いただけるのではないかと考えています。利用を促すような周知方法についても工夫を行う予定です。
- 地域勉強会 ○区町連でも迂回路利用について周知を行う予定である。
- 地域勉強会 ○市道下沼部30号線は時間によって川崎駅丸子線からの車両進入禁止となるため、その迂回路が整備されると、車両が通行して危険となることも考えられる。警察と協議を行って、信号の整備なども検討すべきではないか。
- 事務局 ○車両はこの迂回路を通行できません。中原警察署とも協議を行っており、バイクの通行禁止の措置や幅員などの通路の構造等について、今後適切に対応して参ります。
- 地域勉強会 ○迂回路の整備により現状の踏切は通行できなくなるのか。
- 事務局 ○踏切については、従来どおり御利用いただけます。迂回路により、歩行者や自転車の通行が分散され、混雑が緩和されることを狙っています。

- 地域勉強会 ○迂回路には街灯の設置などで、十分に明るさを確保して欲しい。
- 事務局 ○周辺の方々からも暗いとのこと指摘を受けており、適切に対応させていただきます。

2 第6回の主な意見と基本的な考え方について

[意見要旨]

- 地域勉強会 ○駅前に交通広場を整備してしまうと、バスなどにすぐに乗り換えてしまって、商店街の活性化につながらない可能性がある。再開発を行うのであれば、地元の商店が入居できるような駅ビル等の整備を誘導して、その下にターミナルを整備するようにしたほうがよいのではないか。
- 事務局 ○駅ビルというイメージがなかなか難しいかもしれませんが、地上階にはバスやタクシーの停車設備を整備し、2階や3階に地元の商店がテナントとして入居できるような整備の検討は可能であると思われる。
- 地域勉強会 ○駅前に川崎市土地の一部があると思うが、そこを再開発などで活用し、地元の活性化につながるような方法を検討して欲しい。
- 地域勉強会 ○鹿島田と平間間の工業高校の前の道路と連立事業で整備される側道は高架化によりつなげることはできないか。その道路がつながることにより、利便性が向上するのではないか。
- 事務局 ○現時点では、つなげる計画にはなっておりませんが、有益な計画であるため、地域の皆様のご意見を踏まえ東西連絡道路の候補地として前向きに検討いたします。

3 南武線のまちづくりの方向性について

[意見要旨]

- 地域勉強会 ○社会環境が急激に変化し、スマートフォンから無人タクシーを呼べる時代がすぐそこまで来ています。また、高齢化が進展していく中でこの高架化は長い期間を要する事業のため、変化する将来のニーズに対応できるよう沿線のまちづくりを含めて検討していく必要があると考えています。
- 地域勉強会 ○地域包括ケアシステムの中でも、地域コミュニティの重要性は示されており、今後まちづくりを進めていく中で各地域毎に有効な施設の検討などが進められることを期待します。

- 地域勉強会 ○向河原駅前の広場について、地域のイベントができるようになれば、小杉地域から人を誘導することができ、地域の活性化につながるのではないかと考えています。是非川崎市から働きかけを行って欲しい。
- 事務局 ○東小金井の再開発では、整備した駅前広場を活用してイベントなどを行って賑わいを創出している。担い手がいるのであれば、賑わい創出効果は大きいと考えております。
- 地域勉強会 ○向河原駅だけではなく、それぞれ最寄の駅前などにイベント広場の整備を是非誘導して欲しい。
- 地域勉強会 ○平間駅では現在東側にしか改札が無いが、両側に改札の整備をできないのか。西側に位置する企業への通勤者が多いので、両側改札の整備により踏切を通行する人を減らせられるのではないかと考えています。
- 事務局 ○両側改札の設置については、引き続きJRと協議を行っておりますが、今後連立事業を進めていく上で、人員配置や施設の改良など2重投資となってしまうためなかなか難しいのではないかと考えています。

《閉会》